

八峰中・峰浜ポンポ子ども園
合同避難訓練

5月27日、八峰中学校と峰浜ポンポ子ども園の合同避難訓練が実施されました。

これは、幼中連携の一環で、避難経路の確認や防災意識の高揚、中学生が自分たちができる避難支援を考えることを目的として令和5年度より実施しています。

この日は、震度5強の地震が発生し、停電・給食センターから火災が発生したことを想定した避難訓練が行われました。生徒は峰栄館に避難した園児を迎えに行き、峰浜球場まで手を繋いで避難しました。

年代信弥校長（八峰中）は、「自助・共助・公助の心を持って、いざというときに対応できるようにしましょう。」と講評を述べました。



園児と一緒に避難しました

晴天の下「はっぽう青空マーケット」
が開催されました



行列ができたお店もありました

5月29日、お母さんのお店敷地内（峰浜沼田）にて「はっぽう青空マーケット」が開催されました。

これは、はっぽう青空マーケット実行委員会（小林由布子代表）の主催で、初開催となります。

当日は、町内外から約15店舗が出店し、海産物や焼き菓子、ハンドメイド雑貨などが販売されたほか、箸作りワークショップも行われました。また、ポニーの親子が来場客を出迎えてくれ、初めて見るポニーに興味津々の子どもや「かわいい！」と撫でる来場客の姿も見られました。

晴天に恵まれたこの日、会場に目当ての商品を求めて多くの来場者で賑わいました。

八峰町防災訓練（椿・椿台地区）が
実施されました

5月25日、八森椿・椿台地区にて防災訓練が実施され、自治会の住民、消防団等、合わせて101名が参加しました。この訓練は、昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震の大惨事を教訓に設定された「県民防災の日」の訓練として、自助・共助の意識向上や危機管理意識の向上を図ることを目的として行われています。

この日は、震度6弱の地震が発生し、さらに大津波警報が発令されたことを想定した訓練が行われました。椿・椿台自治会の住民は避難路等を利用して高台へ避難しました。その後は八森体育館にて避難所の開設訓練も実施し、数人にわかれてテントや段ボールベッドを組み立てました。

また、同日、八峰消防署員の指導を受けながら、救命救急講習を実施し、有事に備えました。



協力して避難所を設営しました

元気に育てと願いを込めて
小学校アユの稚魚放流



声をかけながら放流しました

6月2日に八森小学校、3日に峰浜小学校の4年生が少年水産教室に参加し、アユの稚魚を放流しました。この教室は、稚魚の放流事業を通じて、水辺環境保全に理解を深めるとともに、魚の生態や水産業に対して関心を高め、将来の漁業および水産業の担い手を育成することを目的に、毎年実施されています。

このうち、八森小学校では漁協（工藤忠夫組合長）の協力を経て、真瀬川で稚魚の放流を行いました。

この日は天気にも恵まれ、参加した児童15名は用意されたアユの稚魚約6千匹を、それぞれバケツに取り分けてもらい、元気に育てと願いを込め、優しく放流しました。

児童からは、「また真瀬川に戻って来たアユを見に来たい。」などの感想が発表されました。

優勝を目指して！

町内各小中学校で運動会



白熱した競技が繰り広げられました

5月18日、25日、各小中学校で運動会が行われました。

18日に行われた各小学校の運動会では、雨が心配されましたが、無事開催することができました。

このうち峰浜小学校では、各学年赤・白・青の3つの組に分かれ優勝を目指しました。プログラムは生徒たちの堂々とした入場行進で始まり、優勝旗返還や選手宣誓、歌の熱唱などのパフォーマンスに続いて競技に入りました。100m走やリレーなど、児童たちの全力疾走に、集まった観客からは大きな声援が送られました。

また、開校10年目を迎える記念として、保護者や地域住民も参加するレク種目を追加し、大いに盛り上がりました。

町内小学校・子ども園
さつまいもの苗植え体験

5月23日に八森小学校と八森子ども園、同27日に峰浜小学校と峰浜ポンポ子ども園が各農園でさつまいもの苗植え体験をしました。

これは、土と触れ合い、収穫の楽しみや食べる喜びを体験することを目的として毎年行われています。

生徒や園児たちは、苗の向きなどの植え方を教えてもらいながら、みんなで協力して植えていきました。

23日の苗植えでは、八森小学校の代表生徒が「地域の方々に教えてもらいながら子ども園の子たちと協力してできました。秋の収穫が楽しみです。」、八森子ども園の園児は「苗植え楽しかったです。」とそれぞれ感想を述べました。

秋の収穫へ向け今後は草取りをしたり、水をあげたりしながら、さつまいもの成長を楽しみにします。



植え方を聞いて、一生懸命植えました

「たくさんとったよ！」

カミツレ摘み取り体験



満開のカミツレ（カモミール）

ふれあい農園の一面にあるカミツレ畑が満開となり、収穫もピークを迎えています。

6月10日には、峰浜小学校4年生が八峰町で栽培しているカミツレの摘み取り体験を行いました。

当日は、農林水産課の職員に摘み取り方を教えてもらいながら、たくさんの花を摘み取りしていました。その後、カミツレの種類や栽培方法などを学習し、乾燥したカミツレで作ったカモミールティーの試飲を行いました。

カミツレは（株）龍角散のどすっきり飴の原料として使われており、今回摘み取りしたカミツレも龍角散へ出荷されます。他にも、町内の事業所によりビールやジンなどのお酒、お茶の原料としても使われています。

JA共済 JAのがん共済が生まれ変わりました!!

旧がん共済

入院日数に応じた保障

詳しいことは、お近くのライフアドバイザーにご相談ください。



新がん共済

入院に限らず様々な治療を
まるごと保障

JA秋田やまもと

八峰支店 ☎76-3151 共済課 ☎87-4601